

平成29年度

事業報告
決算報告

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

— 目 次 —

平成 29 年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	1
2	赤十字講習の充実	7
3	青少年赤十字の育成	9
4	国際活動の推進	11
5	救護看護師の養成	13
6	血液事業の推進	13
7	赤十字ボランティアの育成	14
8	効果的な広報活動の展開	22
9	活動資金の募集及び表彰制度	23
10	奈良県支部有功会	24

平成 29 年度 一般会計決算報告

1	平成 29 年度 一般会計決算	25
2	平成 29 年度 会費収入	26

参考資料

1	一般会費及び法人会費収納実績表	27
2	火災・水害等による救援物資配布・弔慰金支給 及び付添臨時救護派遣状況	28
3	市町村別講習一覧	29

平成 29 年度 事業報告

1 災害救護体制の強化 ―災害からいのちを守る―

平成 23 年の東日本大震災・紀伊半島大水害、平成 28 年の熊本地震などの教訓から、近い将来発生が危惧されている南海トラフ地震などの大規模災害に備え、災害救護体制の整備・強化に取り組みました。

(1) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名 称	班数	備考
地方独立行政法人奈良県総合医療センター	2 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結
地方独立行政法人奈良県西和医療センター	2 班	"
南奈良総合医療センター	1 班	平成 28 年 4 月 20 日委託契約締結
市立奈良病院	1 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結
大和高田市立病院	1 班	平成 26 年 9 月 1 日委託契約締結
奈良県立医科大学附属病院	1 班	平成 28 年 11 月 1 日委託契約締結
合計	8 班	

※1 班の体制：医師 1 名・看護師 3 名・薬剤師 1 名・主事 1 名・調整員 1 名 計 7 名

(2) 救護班訓練

大災害に備え、各種救護訓練に参加しました。

実 施 日	訓練名称	開催場所	支部参加者(参加総数)
6 月 17 日	第 4 ブロック(近畿)合同災害救護訓練	京都府	21 名(600 名)
9 月 10 日	奈良県防災総合訓練	生駒市	26 名(1,200 名)
平成 30 年 1 月 23 日	奈良県国民保護共同図上訓練	奈良市・桜井市	23 名(150 名)
2 月 4 日	第 6 回奈良市消防団活性化大会	奈良市	3 名(300 名)



(第 4 ブロック合同災害救護訓練)



(奈良県防災総合訓練)



(奈良県国民保護共同図上訓練)



(第 6 回奈良市消防団活性化大会)

(3) 救護班等研修会

救護班等の技術向上を図るため研修会に参加しました。

実施日	研修名称	主催	参加人数
	内 容		
5月27日	救護班研修	奈良県支部	26名
	赤十字の災害救護活動 災害時に対応できる知識と技術		
11月18日 ～19日	防災ボランティアリーダー養成研修会	本社	2名 (無線・救護奉仕団2名)
	赤十字ボランティアの活動、コーディネータとして必要な知識・情報の習得		
9月15日 ～16日	医療コーディネーター研修会	本社	2名 (職員1名 南奈良総合医療センター1名)
	コーディネーターの役割と位置付け、発災時の対応体制について、本部運営と情報収集について		
12月17日	BHELPプロバイダーコース	日本集団 災害医学会	3名
	地域保健、福祉関連業務に従事する者が助かった生命を守るために災害対応の標準化を理解し多職種との協同による災害対応能力向上を目的としたコース		
平成30年 1月27日 ～29日	全国救護班研修	本社	3名 (職員1名 大和高田市立病院 2名)
	災害医療の考え方、日赤 DMAT と日赤救護班の活動内容、長急性期の災害医療対応に必要なスキル		



(救護班研修：奈良県支部主催)



(全国救護班研修：本社主催)

(4) 日赤災害医療コーディネーターの及びスタッフの登録

災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付けける医療チームを効果的に調整することを目的に登録しました。

委嘱日	病院名	役職・氏名
2月1日	南奈良総合医療センター	医師 守川 義信 医師 明石 陽介
11月1日	南奈良総合医療センター	看護師 高山 良光

※事務局職員2名が登録しています

(5) 防災・減災イベント

開催日	イベント名	イベント内容
	開催場所	
10月15日	みんなの防災 + ソナエ	「救急救命体験ブース」での心肺蘇生法と AED 体験、身近な物を使っての応急手当法や毛布ガウンの作り方などの講習。
	イオンモール奈良登美ヶ丘	
3月11日	3.11「私たちは、忘れない」プロジェクト	東日本大震災から 7 年を契機に継続した復興支援とこれまでの災害経験をもとに赤十字が推進する「防災・減災の知識」を普及することを目的に、復興パネル展示、非常食試食体験、災害時に役立つ講習会、無線機交信体験などを実施。
	J R 奈良駅前広場	



(みんなの防災 + ソナエ)



(3.11「私たちは、忘れない」プロジェクト)

(6) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材の整備を行いました。

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】平成 29 年度に新たに整備したもの

品 名	型 式	数 量	品 名	型 式 等	数 量
非常食(2 種類)	カレーライス すき焼き丼	72 食	L E D ランタン		10 個
長編み安全靴		3 足	ブルーシート	3.6m×5.4m	200 枚
中編み安全靴		20 足	メガホン		3 個



(LED ランタン



メガホン



中編み安全靴



ブルーシート



タオルケット

)

※()の数字は平成 29 年度に新たに整備したもの

品名			品名		
数量			数量		
救護班要員装備品	医療セット	5	救護所資機材	大型フレームテント	2
	携帯医療セット	5		大型エアーテント (ハイブリット式)	1
	救護班要員携行バッグ	30		エアーテント(大 1・小 1)	2
	医療資機材携行用鞆	33		組立式テント	12
	パルスオキシメータ	9		ワンタッチテント(大 2・小 6)	8
	電子体温計	20		プライベートテント	1
	自動体外式除細動器(AED)	3		間仕切り用ブラレーション(2 種)	30
	救護服：上下	188		簡易トイレ	2
	救護服：雨衣	30		簡易トイレ用ワンタッチテント	4
	救護服：防寒衣	30		自家発電機(ガソリンタイプ)	16
	救護服：T シャツ	120(120)		水銀灯付発電機	1
	防護メガネ	20		蓄電池	1
	防塵マスク	10		投光器	9
	防寒用ブランケット	30		誘導灯	5
	LED ヘッドライト	10		冷暖房機器 (冷暖房器：3、暖房器：1、冷房器：3)	7
	懐中電灯	10		診療用机・椅子	1
	ペンライト(ホルダー付)	30		診察台	4
	寝袋	50		折畳式寝台	80
	万能ハサミ	20		キャンバスベッド	6
	ホイッスル	50		傷病者用毛布	70
	非常食：アルファーマ(50 食)	16		担架	15
	非常食：餅	40		担架架台	10
	非常食：ビスケット	27		浄水器	1
	非常食：ドライスープ	291		LED ランタン	10(10)
	非常食：白粥	191		拡声器(メガホン)	5(3)
	非常食：鮭粥	143		リヤカー(大・小)	各 1
	非常食：惣菜(3 種)	168		移動炊飯器	11
	非常食：水(24 本)	44		ブルーシート	200 (200)
	非常食：丼(2 種)	72(72)			
機材・他	原子力対応資		通信機器	業務用無線基地局	2
	空間線量率測定用サーベイメータ	1		業務用無線移動局	14
	防護服セット	6		業務用無線携帯局	21
	デジタル個人線量計	7		アマチュア無線局	1
支援要員資材	NBC 除染資機材セット	1		室外設置用外部アンテナ	3
	ボランティアユニフォーム	40		デジタル通信システム (D-STAR レピーター)	2
	ボランティア反射チョッキ	50		携帯電話	1
	ボランティア帽子	50		データ通信端末	1
	防寒衣	59		衛星携帯電話	3
	雨衣(白色・黄色)	50			
災害救護車両	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1			
	救急車	1			
	災害救援車	5			
	救護資機材運搬トラック	1			

【 地区分区(市町村) 】 ※()の数字は平成 29 年度に新たに整備したもの

品名		数量	品名	数量
災害対応資機材	災害救援車	54(5)	自動体外式除細動器(AED)	33
	御杖村、吉野町、大淀町、天川村、 上北山村 5 分区		ワンタッチテント(大)	24
			発電機：ガソリンタイプ 900W	3
	移動炊飯器	59	発電機：ガソリンタイプ 1600W	22
	LED 投光機：スタンドタイプ	36	発電機：プロパンタイプ 850W	11



(災害救援車貸与式：H30 年 1 月 26 日)

② 救援物資の整備

● 備蓄状況（支部・地区分区において配備）※()の数字は平成 29 年度に整備したもの

毛 布	緊急セット	布 団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット	安眠セット
3,040 枚	1,269 セット	331 組	991 枚(300 枚)	200 枚(200 枚)	800 枚(800 枚)	1,172 セット

● 救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テント	A E D
件数	8 件	0 件	3 件

● 火災による救援物の配付・弔慰金の支給

世帯数	150 世帯	毛 布	緊急セット	布 団	バスタオル	安眠セット	区分	件数	金 額
人 数	395 人	296 枚	67 セット	115 組	144 枚	0 セット	弔慰金	2 名	40,000 円



(毛布)



(安眠セット)



(緊急セット)

(7) 災害時協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは十分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



(株)八百彦商店との物資支援協定



(一般社団法人奈良県 LP ガス協会
との物資支援協定)



(板倉石油(株)との物資支援協定)

(8) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々にお届けされます。

【平成 29 年度受付実績】

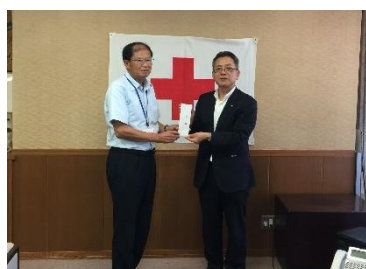
(単位：円)

義 援 金 募 集 名	件 数	金 額	募 集 期 限	累 計
東 日 本 大 震 災 義 援 金 (宮 城 県)	-	-	平 成 2 6 年 3 月 3 1 日	1 , 5 1 0 日
東 日 本 大 震 災 義 援 金 (宮 城 県)	165	165	平 成 2 6 年 3 月 3 1 日	2 日 2 4
熊 本 地 震 災 害 義 援 金、 熊 本 県	231	7 , 7 9 9	平 成 2 6 年 3 月 3 1 日	1 日 1 6
新 潟 県 糸 魚 川 市 大 規 模 火 災 義 援 金	1	1 9 , 3 0 0	平 成 2 9 年 6 月 3 0 日	1 日 8
7 月 5 日 か ら の 大 雨 災 害 義 援 金 (宮 城 県)	1	1 3 7	平 成 2 9 年 3 月 3 0 日	0 日
7 月 5 日 か ら の 大 雨 災 害 義 援 金 (宮 城 県)	1	1 3 7	平 成 2 9 年 3 月 3 0 日	0 日
秋 田 県 大 雨 災 害 義 援 金	10	2 5 8	平 成 2 9 年 8 月 3 1 日	1 日
台 風 第 1 8 号 災 害 義 援 金	21	1 7 1	平 成 3 0 年 3 月 3 0 日	0 日
台 風 第 2 1 号 災 害 義 援 金 (和 歌 山 県)	2	2 3 9	平 成 3 0 年 1 月 3 1 日	1 日
合 計	653	28,045,315		

▼国内義援金の受渡



(添上高等学校)



(野迫川村)

2 赤十字講習の充実 ―いざという時に備えて―

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。また、地域包括支援事業として、地域サロン等での「健康生活・介護予防」のための講習にも取り組みました。

平成 29 年度は、県下各地で 349 回開催し、延べ 12,931 人の方に受講いただきました。

(1) 防災・減災のための講習会

地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県下各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2 時間以上	27 回	1,219 人
災害時要配慮者生活支援講習			
防災セミナー	適宜	14 回	438 人
計		41 回	1,657 人



(冊子)
「赤十字防災啓発プログラム」



(地域包括支援事業)
サロン参加者に
「地域で支える認知症」の講義



(DIG)
自治会員を対象に
「防災マップ作り」の演習

(2) 救急法等の講習会

① 救急法

心肺蘇生や A E D の使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4 時間	20 回	482 人

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救急員養成講習	1 2 時間	13 回	313 人
短期講習	2 時間以上	140 回	5,387 人
指導員養成講習	3 0 時間	1 回	3 人
資格継続研修	4 時間	3 回	35 人
計		157 回	5,738 人



(救急員養成講習)

② 水上安全法

水の事故防止を中心に、事故発生時必要な応急手当や着衣泳（服を着たまま溺れた場合の対処方法）講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成Ⅰ講習	1 4 時間	2 回	14 人
短期講習	2 時間以上	44 回	2,394 人
指導員養成講習	3 0 時間		
資格継続研修	4 時間	1 回	8 人
計		47 回	2,416 人



(救助員養成Ⅰ講習)

③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などを学ぶ「支援員養成講習」や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	1 2 時間	2 回	43 人
短期講習	2 時間以上	28 回	1,243 人
指導員養成講習	3 0 時間		
地域包括支援事業	適宜	17 回	462 人
資格継続研修	4 時間		
介護職員初任者研修・実務者研修	55 時間	1 回	48 人
計		48 回	1,796 人



(支援員養成講習)

④ 幼児安全法

乳幼児に対しての救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などを習得する「支援員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	1 2 時間	2 回	31 人
短期講習	2 時間以上	34 回	811 人
指導員養成講習	3 0 時間		
資格継続研修	4 時間		
計		36 回	842 人



(支援員養成講習)

3 青少年赤十字の育成 ―思いやりを育む―

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

(1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
加盟校	10 校	72 校	15 校	10 校	107 校

(2) 青少年赤十字防災教育推進事業

青少年赤十字加盟推進並びに新しい指導者を養成するため、県教育研究所において、小・中学校、高等学校の教諭や養護担当教諭等を対象に、「防災教育プログラム」の効果的な活用や防災講習を実施しました。

実施日	研修内容	実施場所	参加対象者及び人数	
8 月 10 日	HUG 避難所運営ゲーム	吉野中学校	教職員	13
9 月 12 日	学校防災と事務職員の役割	県立教育研究所	学校事務職員	50



(防災教育教材：冊子・DVD)



(加盟登録案内パンフレット)



(県立教育研究所での防災教育プログラム)

(3) 国際交流派遣事業：第 4 ブロック合同青少年赤十字国際交流：9 月 14 日～20 日

第 4 ブロック合同青少年赤十字国際交流として、マレーシア赤新月社からユースメンバー 12 名と指導スタッフ 3 名の合計 15 名を受け入れました。

奈良県支部では、ユースメンバー 2 名を受入、橿原高等学校と磯城野高等学校を訪問しクラブ活動や学内見学を実施し、互いのメンバー同士のふれあいを通じて、国際理解・親善を深めました。



(第4ブロック合同国際交流受入事業：橿原高等学校、磯城野高等学校)

(4) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
奈良市立 東市小学校	東市まるごと笑顔 100% 東市花いっぱい運動	243 名	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の花壇を整備し、学校環境を整える ●植栽活動を奉仕作業、清掃活動につなげ、自分たちの力で自分たちの住む環境を整える
奈良市立 大安寺小学校	大安寺あいさつ、笑顔いっぱい 花いっぱい活動	334 名	<ul style="list-style-type: none"> ●花壇やプランターの整備 ●清掃・環境美化活動の推進 ●あいさつ運動の推進
奈良市立 鼓阪小学校	鼓阪 100(パーフェクト)緑で つなぐ学校と地域	86 名	<ul style="list-style-type: none"> ●花壇やプランターの整備 ●清掃・環境美化活動の推進 ●あいさつ運動の推進
生駒市立 生駒南小学校	防災体験学習	200 名	<ul style="list-style-type: none"> ●災害や防災について学ぶ ●応急手当の実習 ●非常食づくり体験



(鼓阪小学校)



(東市小学校)



(生駒南小学校)



(大安寺小学校)

(5) 研修会・講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	人数
6	1	第4ブロック指導者協議会	兵庫県	役員改選、活動計画、各支部の活動状況	1
	20	県指導者協議会	支部	指導者講習会・トレーニングセンターの打合	6
	29～30	全国指導者協議会総会・研修会	本社	平成28年度事業報告、平成29年度取組 防災教育プログラムの普及概要 教育等支援事業の報告と今後の取組	1
7	23～25	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター指導者養成講習会	東京都	青少年赤十字と学校教育、トレーニングセンターの運営、防災教育プログラム	1
8	1～3	県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	赤十字・ボランティアについて 救急法・フィールドワーク	83
9	16～18	国際交流集会	和歌山市	マレーシアメンバーとの交流	2
11	25～26	青少年赤十字指導者中央講習会	本社	青少年赤十字と学校教育、防災教育	1
12	21	青少年赤十字児童・生徒交流会	奈良市	「NHK 海外たすけあい街頭募金	17
H30 1	11～12	青少年赤十字研究会	本社	赤十字が提供できる青少年赤十字プログラム、活動事例発表	1
3	3	奈良市青少年赤十字指導者協議会 主催事業：成美学寮交流会	奈良市	入所者との交流（出し物、ゲーム等）	10

4 国際活動の推進 ―世界とつながる―

世界191の国と地域にある赤十字の一員として、本社及び第4ブロック(近畿)各支部と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。



(バングラディッシュ避難民)
～避難民に迫る雨季と災害への備え～



(南アジア水害)
～炊き出しを行うボランティア～



(ケニア地域保健強化事業)
～ケニアから日本のみんなにありがとう～

(1) 支部の国際活動への参加

国名	事業名	支援金額	備考
ケニア	地域保健強化事業	100万円	第4ブロック共同事業(平成22年度より実施)

(2) 海外救援金【平成 29 年度実績】

(単位：円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度まで
中東人道危機救援金	10	66,597	平成31年3月31日	1,061,651
南アジア水害救援金	4	18,100	平成29年10月31日	1,000
バングラデシュ南部避難民救援金	4	24,774	平成31年3月31日	—
合計	18	109,471		

(3) N H K 海外たすけあい

① 受付件数・金額

受付窓口	件数等	金額 (円)	付 記
日赤奈良県支部	74	185,704	南都銀行、農協の振込を含む
N H K 奈良放送局	40	469,960	奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・香芝市・生駒郡・磯城郡の地区奉仕団より各 2 名が協力
街頭募金	16 地域	472,740	地域奉仕団及び青少年赤十字が実施
ゆうちょ銀行	395	4,095,809	県民から本社への振込
合 計		5,224,213	



(街頭募金：生駒市)



(街頭募金：青少年赤十字メンバー)

【街頭募金】

月 日	実施団体名	場 所	人数	金額
11	3 山添村	山添村ふるさとセンター	1	2,175
	23 高取町	高取町お城まつり会場	1	25,687
	26 天理市	天理総合駅前、天理よろづ相談所病院前	19	69,354
12	1 桜井市	近鉄/JR 桜井駅、JR 三輪駅、大神神社	15	35,341
	2 奈良市	道の駅「針テラス」	9	9,482
	3 橿原市 生駒市 生駒郡	近鉄大和八木駅	25	37,158
		近鉄生駒駅	8	9,819
		ザ・ビックエクストラ平群店	9	32,167
	6 大和高田市	オークタウン大和高田店	10	30,073
	8 宇陀市	近鉄榛原駅	11	12,198
	9 北葛城郡	JR 王寺駅、イ・ミ・ス・パ・センター・広陵店	11	22,164
	11 御所市	ライフ御所店	12	47,899
	14 五條市	A コープ、イオン五條店、オークワ、 バザール、イオン五條店、市役所前、市役所	22	34,898
	19 大和郡山市	近鉄郡山駅、アスモ郡山店、市役所周辺	22	50,870
21	奈良市	近鉄奈良駅	9	18,625
	青少年赤十字	近鉄奈良駅周辺	19	34,830
合 計			203	472,740

5 救護看護師の養成 ―国内外で活躍できる看護師を―

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。また、看護学生への奨学金の貸与も行いました。

(平成 29 年度)

養成人数	1 年	2 年	3 年	4 年	計
看護専門学校	2 人	1 人	0 人	－	3 人
看護大学	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人



(戴帽式)

6 血液事業の推進 ―献血にご協力を!!―

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

- (1) 愛の血液助け合い運動（7 月 1 日～8 月 31 日）、全国学生クリスマス献血（12 月）、はたちの献血キャンペーン（1 月 1 日～2 月 28 日）、バレンタイン献血(2 月 1 日～28 日)等を実施しました。

- (2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。

- ・ 献血セミナー
- ・ 献血まるわかりゼミ
- ・ 献血啓発ポスター募集

- (3) 献血推進の広報活動を行いました。(新聞広告掲出：県有功会)

- ・ 愛の血液助け合い運動
- ・ はたちの献血キャンペーン



(献血の様子)



(愛の血液助け合い運動)

7 赤十字ボランティアの育成 ―活動を支える―

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただいております。また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

特に、地域赤十字奉仕団及び安全法指導赤十字奉仕団については、防災・減災をテーマにした研修会に取り組みました。

(1) 地域赤十字奉仕団（団数及び団員数：39 団、3,915 名）昭和 23 年発足

- ・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問（岡山県）と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。
- ・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンキャンペーンへの参加、NHK 海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

① ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県人会の方と交流を実施しました。（4 月 7 日：岡山県瀬戸内市）

② 奈良県合同防災訓練に参加しました。（9 月 10 日：生駒市）



（ハンセン施設訪問）

③ クリーンアップならキャンペーンに参加しました。（9 月 3 日：県内 14 ユース、104 名参加）

④ NHK 海外たすけあい募金に協力しました。

⑤ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人数
4	10～8/31 地区委員会	県内 17 地区	平成 30 年度支部・血液センター事業報告等	410
	4 指導講師検討会	支部	地域奉仕団研修会について	6
6	1～2 奉仕団中央委員会	本社	委員改選、ブロック奉仕団委員長会議報告、炊き出しレシピの活用	1
	5 支部委員会	支部	地域奉仕団研修会について 災害エスノグラフィ研修	18
7	4 支部指導講師検討会	支部	奉仕団一泊研修会の打合せ	6
	21 地域奉仕団研修会	橿原市	赤十字防災セミナーの体験、地域包括ケアシステム、災害エスノグラフィ	206
8	26～28 ボランティアリーダー研修会(地域奉仕団対象)	本社	赤十字の理念と 7 原則、防災ボランティアとしての活用ニーズ	1
12	8 奉仕団中央委員会常任委員会(第 1 回)	本社	平成 30 年度奉仕団中央委員会日程案、奉仕団の信条改正に係る検討	1
H30 2	5～7 奉仕団支部指導講師研修会	本社	支部指導講師の役割、研修の企画・運営	1
	13 支部委員会	支部	平成 29 年度支部・奉仕団事業中間報告 平成 30 年度支部・奉仕団事業行事等	19
	13 支部指導講師検討会	支部	平成 30 年度地域奉仕団研修会について	7
3	15 大和高田市奉仕団 35 周年式典	大和高田市	祝辞、35 年間の足跡発表等	2



(奉仕団支部委員会)



(奉仕団研修会：活動事例発表)



(奉仕団研修会：分科会模擬講習)

⑥ モデル奉仕団の指定による活動

奉仕団名	活動内容	指定期間
生駒市赤十字奉仕団 (団員：13 名)	モデル活動名：災害救護に関する活動	平成 29 年度～ 平成 31 年度
	炊き出し訓練、防災頭巾の作成、応急手当・地域高齢者講習、セラピューティックケア研修	
高取町赤十字奉仕団 (団員：26 名)	モデル活動名：災害救護に関する活動	平成 28 年度～ 平成 30 年度
	赤十字事業をチラシやパネル等での広報、地域住民への赤十字救急法や災害時生活支援講習の普及	
天理市赤十字奉仕団 (団員：189 名)	モデル活動名：災害救護に関する活動	平成 27 年度～ 平成 29 年度
	献血資料配布、1 日赤十字フェスティバルの開催、救急法などの講習会受講、炊き出し訓練、子育て支援・防災教室	



(生駒市赤十字奉仕団)



(高取町赤十字奉仕団)



(天理市赤十字奉仕団)

(2) 安全法指導赤十字奉仕団 (団員：118 名) 昭和 52 年発足

(救急法指導員 82 名、水上安全法指導員 24 名、幼児安全法指導員 22 名、健康生活支援講習指導員 14 名)

- ・ 赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の講習を普及するために組織された奉仕団です。
- ・ 救急法などの各種講習会開催のほか、団員の知識と技術の向上を図るために、防災・減災に関する研修の実施や、災害時における救護活動を円滑に行うため、救護訓練に参加しました。

① 講習会指導状況

区分		回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習		20 回	482 人	76 人
養成講習	救急法	13 回	313 人	57 人
	水上安全法	2 回回	14 人	17 人
	幼児安全法	2 回	31 人	2 人
	健康生活支援講習	0 回	0 人	0 人
短期講習	救急法	123 回	4,556 人	163 人
	水上安全法	44 回	2,394 人	70 人
	幼児安全法	12 回	369 人	16 人
	健康生活支援講習	1 回	38 人	1 人
資格継続 研修	救急法	3 回	35 人	6 人
	水上安全法	1 回	8 人	3 人
	幼児安全法	0 回	0 人	0 人
	健康生活支援講習	0 回	0 人	0 人
災害時要配慮者生活支援講習		2 回	15 人	4 人
健康生活支援講習：介護職員		0 回	0 人	0 人
計		223 回	8,255 人	415 人

- ② ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県人会の方と交流を実施しました。(4月7日：岡山県瀬戸内市)
- ③ 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月13日：京都市)
- ④ 奈良県合同防災訓練に参加しました。(9月10日：生駒市)
- ⑤ 安全法指導奉仕団40周年記念式典を開催(10月15日：奈良市)
- ⑥ 奈良マラソンでの救護支援として協力しました。(12月10日：奈良市鴻池陸上競技場)
- ⑦ 3.11「私たちは、忘れない。」プロジェクトに参加しました。
AED・救急法講習(3月11日：JR 奈良駅)

⑧ 研修会、講習会等

月 日	行事名	場 所	内 容	人数
4 23	総会、研修会	奈良市	H28 年度事業報告、会計報告、 H29 年度事業計画、予算等審議、 指導員の基本姿勢、実技確認（止血・ 搬送等）	41
5	救急法基礎講習会	奈良市	受講者 28 人	13
	水上安全法救助員資格継続研修会	奈良市	受講者 8 人	3
	水上安全法救助員Ⅰ養成講習事前打合せ	奈良市	役割、実技指導の確認	
	20～21 救急法救急員養成講習会	奈良市	受講者 8 人	3
	28、 6/4.11 水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	大和郡山市	受講者 9 人	10
6 24.25	幼児安全法支援員養成講習会	支部	受講者 12 人	1
7 1	役員会	支部	8 月の講習会、40 周年記念式典	13
8	6 災害時要配慮者生活支援講習会	支部	受講者 10 人	3
	19 救急法基礎講習会	奈良市	受講者 21 人	9
	26.27 救急法救急員養成講習会	奈良市	受講者 37 人	10
9	2 役員会	支部	40 周年記念事業等	13
	24 救急法救急員資格継続研修	支部	受講者 16 人	2
10 1	40 周年記念式典準備会	支部		6
12	2 救急法基礎講習会	橿原市	受講者 27 人	9
	16.17 救急法救急員養成講習会	橿原市	受講者 33 人	15
H30 1	13 災害時要配慮者生活支援講習会	支部	受講者 5 人	1
	14 救急法基礎講習会	支部	受講者 19 人	6
	21.28 2/4 水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	大和郡山市	受講者 5 人	7
2	3 役員会	支部	2 月の講習会・総会の付議事項等	9
	13 奉仕団支部委員会	支部	平成 29 年度事業中間報告 平成 30 年度事業計画 等	1
	18 救急法基礎講習会	大和郡山市	受講者 46 人	14
	24.25 救急法救急員養成講習会	大和郡山市	受講者 47 人	14
3 25	救急法救急員資格継続研修	支部	受講者 14 人	2



(総会・研修会)



(講習指導)

(3) 無線・救護赤十字奉仕団（団員：24 名）昭和 47 年発足

平成 25 年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。
今年度は、他府県との通信訓練、第 4 ブロック災害救護訓練、県合同防災総合訓練に参加しました。

① 第 4 ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6 月 13 日：京都市)

② 奈良県合同防災訓練に参加しました。(9 月 10 日：生駒市)

③ 3.11「私たちは、忘れない。」プロジェクトに参加しました。

無線機交信体験・非常食の配布 等(3 月 11 日：JR 奈良駅)

④ 奈良マラソンでの無線救護として協力しました。(12 月 10 日：奈良市鴻池陸上競技場)

⑤ 研修会・講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	人数
4	8	第 4 ブロック連絡協議会	大阪府支部	各府県活動報告、計画等	1
	9	総会	支部	平成 28 年度活動報告、平成 29 年度計画	15
5	28	通信訓練、機器メンテナンス	支部	D-star ・ HF（短波）	3
6	25	通信訓練、機器メンテナンス	支部	D-star ・ HF（短波）	8
7	8.9	野外活動訓練、移動通信訓練	下北山村	野外通信訓練・ロープワーク	12
8	6	通信訓練、機器メンテナンス	支部	D-star ・ HF（短波）	4
9	3	通信訓練	県内	D-star	5
	10	奈良県防災総合訓練	生駒山麓公園	救護所設営・担架搬送	5
	24	通信訓練、幹事会	支部	D-star ・ HF 運営計画	7
11	5	通信訓練	県内	D-star	5
	18・19	赤十字防災ボランティアリー	本社	ボランティアのコーディネート	2
	25・26	反省会、研修会（泊）	美榛苑	通信訓練を含む	10
12	10	奈良マラソン救護支援	鴻ノ池陸上競技場	救護支援	7
1	14	通信訓練、幹事会	支部	D-star ・ 今後の計画	6
2	4	通信訓練	県内	D-star	5
	13	赤十字奉仕団支部委員会	支部	平成 29 年度事業中間報告、平成 30 年度事業計画等	1
	17	電波伝搬調査	県内	業務用・アマチュア局	7
3	3・10	無線従事者養成講習会	支部	アマチュア第 4 級	3
	21		支部	アマチュア第 3 級	3
	4	防災ボランティア研修会	支部	非常食・救護資機材	11
		幹事会・(通信訓練)	支部	H30 年度事業・運営計画	6
	25	通信訓練、機器メンテナンス	支部	D-star ・ HF（短波）	5
無 線 通 信 訓 練 の 実 施		兵庫県（4/17）、鹿児島県（5/21）、山口県（5/28）、北海道（7/23）、栃木県（8/27）、石川県（9/3） 秋田県（9/3）、岩手県（9/10）、富山県（9/30）、兵庫県（10/15）、新潟県（10/22）、宮崎県（11/3） 茨城県（11/11）、鹿児島県（1/12）、大阪府（1/21）、愛知県（1/21）、山口県（3/24）			



(通信訓練)



(イベントでの無線機体験)

(4) 看護赤十字奉仕団 (団員：52 名) 昭和 48 年発足

看護師の資格を有したボランティア組織です。主に地域社会に貢献しようと奈良マラソンや大立山まつりをはじめ、公共性の高い行事等の臨時救護や付添救護活動を通じて赤十字思想の普及に努めました。また、技術の向上を図るための研修会を行いました。

① 救護活動回数

区分	回数	人数
臨時救護	68 回	90 人
団体付添救護	15 回	18 人
計	83 回	108 人

② 3.11「私たちは、忘れない。」プロジェクトに参加しました。(3 月 11 日：JR 奈良駅)

③ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人数
H30 3 7	研修会	支部	災害時要配慮者への支援、救護活動に役立つ知識と技術の確認	11



(奈良マラソンでの臨時救護)



(付添救護)



(研修会)

(5) 青年赤十字奉仕団 (団員：21 名)

(奈良県青年赤十字奉仕団：7 名 昭和 60 年発足、近畿大学農学部赤十字奉仕団：14 名 平成 4 年発足、奈良大学学生赤十字奉仕団 0 名 平成 24 年度発足)

勤労青年や大学生によるボランティア組織です。主に赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

① 第 4 ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6 月 13 日：京都市)

② 奈良県合同防災訓練に参加しました。(9 月 10 日：生駒市)

③ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人数
6	25	大阪府支部	第4ブロック協議会活動報告、計画等協議	3
			赤十字について、献血セミナー	
8	1～3	奈良市	トレーニングスタッフ	2
10	1	大阪府支部	リーダー養成研修会について等	1
11	18～19	大阪府	赤十字について、リーダーについて等	2
2	24	大阪府支部	全国協議会委員の選出について等	1
3	2	近畿大学農学部	活動報告、新役員・計画等協議	13
4	8	大阪府支部	事業報告、収支決算、役員改選等	1
学内献血		4/24.25、11/2.12/8.12	近畿大学農学部	献血の呼びかけ



(第4ブロック基礎研修会)



(近畿大学農学部奉仕団総会)

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団（団員：21名）昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更

青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字を側面から支えています。トレーニング・センターの応援、ブロック研修会への参加などを行いました。

また、今年度は、青少年赤十字への加盟促進として学校訪問を行い、青少年赤十字活動や防災教育講習などの説明を行い、新たに4校の小学校から加盟の登録がありました。

① 県トレーニングセンターに協力しました。(8月1～3日：奈良市)

② 3.11「私たちは、忘れない。」プロジェクトに参加しました。(3月11日：JR奈良駅)



(県トレーニングセンター)



(イベントでの紙トンボ体験)

③ 研修会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人数
5 30	賛助奉仕団総会	支部	H29 年度事業・決算報告、H30 年度事業計画、役員改選	8
6 17~19	防災教育事業指導者養成研修会	本社	災害エスノグラフィ、DIG 等	2
7	5、6	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会	H29 年度事業・決算報告、役員改選、H30 年度事業計画・予算案 全国協議会バッジと旗の発注について	1
	21	地域奉仕団研修会	災害エスノグラフィ	1
8 1~3	県トレーニングセンター	奈良市	トレセンスタッフ	5
10. 26.27	第 4 ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	大阪府支部	DIG、奉仕団の課題	2

(7) 防災ボランティア（個人）（登録人数：16 名） 平成 9 年度発足

災害時の対応や、避難生活対応のための知識や技術を習得するため、訓練や講習会などへ参加しました。

① 奈良県合同防災訓練に参加しました。(9 月 10 日：生駒市)

② 3.11「私たちは、忘れない。」プロジェクトに参加しました。(3 月 11 日：JR 奈良駅)

③ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
H30 3 4	防災ボランティア研修会	支部	熊本地震活動報告 非常食炊出し、救護資機材の取扱い	5

④ 「赤十字 NEWS」発送業務に協力しました。(5 月・7 月・9 月・11 月・12 月・1 月・3 月)



(非常食作り、配布)



(DIG)



(「赤十字 NEWS」発送作業)

8 効果的な広報活動の展開 ―活動へのご理解とご参加を―

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動を行いました。

(1) 支部の広報活動

- ① テレビ放送（運動月間：5月及び随時放送）での広報活動（奈良テレビ、コミュニティビジョン吉野ケーブルテレビ、下市テレビ）を行いました。（運動月間：5月及び年間を通じて継続的に放送依頼）
- ② 新聞への広告掲載をしました。（運動月間：5月に、赤十字活動の紹介）
- ③ 熊本地震での活動報告や義援金の募集・配分状況等を来訪者や各種会議等で配付しました。
- ④ 赤十字 NEWS を隔月送付しました。
- ⑤ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。
- ⑥ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑦ 報道機関へは、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。（随時）

(2) 地区区分への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」23万部、「日赤なら」中間報告3万部を作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区区分広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。

(3) 第4ブロック（近畿）合同広報活動

- ① テレビ放送（運動月間：5月及び随時放送）での広報活動（毎日放送、朝日放送、関西テレビ、読売テレビ）を実施しました。
- ② 関西私鉄主要駅へポスターを掲示しました。
JR西日本(大阪福知山支社管内)、近畿日本鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道(阪神電気、神戸高速道路)
- ③ 啓発資材（ポケットティッシュ）4万個を作成しました。



（「日赤なら」広報誌）



（「日赤なら」中間報告）



（本社作成年間ポスター）

9 活動資金の募集及び表彰制度 ―活動資金にご協力を!!―

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区区分、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願いや、個人・法人などへのダイレクトメールでの募集を行うとともに、企業等とのパートナーシップ(寄付金付自販機設置など)による寄付のお願いや、遺贈による寄付の周知、自治会未加入の地域やマンションなどヘタウンブラスによる活動資金の協力依頼などを行いました。

寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住 所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
杏林会鍼灸整骨院	大和高田市
中造園	葛城市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
(株)RISING SUN	橿原市



(寄付金付自動販売機)

【表彰制度について】

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項 目	人 数	贈与対象内容
1. 支部長表彰状・感謝状	35	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
2. 銀色有功章	19	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
3. 金色有功章	12	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
4. 本社感謝状(6条)	3	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章：個人 左：男性 右：女性)



(金色有功章略章)



(金色有功章(法人)
銀色有功章(個人・法人))

② 国の表彰制度

項 目	人 数	贈与対象内容
1. 厚生労働大臣感謝状	1	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
2. 紺綬褒章	0	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等

10 奈良県支部有功会(平成 29 年度末会員数：453 人、昭和 41 年 1 月結成)

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、7 地域の有功会（奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、王寺町、宇陀地区、橿原市、生駒市）においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

- (1) 第 4 ブロック国際救援協力事業：青少年教育等支援（バングラデシュ、モンゴル、ネパール）として、支援金 30,000 円を送金しました。
- (2) 救護看護師養成事業として、大阪赤十字看護専門学生へ一部費用を助成しました。
- (3) 国内義援金及び海外救援金（平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金、秋田県大雨災害義援金、平成 29 年台風第 18 号災害義援金、平成 29 年台風第 21 号災害義援金、バングラデシュ南部避難民救援金、2017 年南アジア水害救援金、イラン・イラク地震救援金、）として 70,000 円（各 10,000 円）を送金しました。
- (4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい月間、老人の日・高齢者保健福祉月間、救急の日、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。
- (5) 総会等

月 日	行事名	場 所	内 容
4 26	有功会総会	奈良ホテル	平成 28 年度事業報告・会計収支決算・平成 29 年度事業計画講演会等
5 2	生駒市有功会総会	生駒市	平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業計画 熊本地震活動報告、ビデオ研修等
6 6	都祁有功会総会	奈良市都祁	有功章伝達・平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業計画、熊本地震活動報告、ビデオ研修等
	王寺町有功会総会	王寺町	平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業計画、献血啓発活動計画、ビデオ研修等
8 23	大和郡山市有功会総会	大和郡山市	平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業計画、熊本地震活動報告等
10 19～20	紺綬・有功会会長協議会	高松市	平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業中間報告講演会等
12 18	有功会連絡協議会	奈良市	平成 28 年度会計収支決算報告 平成 29 年度地区有功会活動報告 等
H30 3 13	有功会理事会	奈良市	役員の選任、平成 29 年度有功章会員加入等状況、会計収支状況、平成 30 年度事業計画 等



(有功会総会)



(有功会連絡協議会)

平成 29 一般会計決算報告

1 平成 29 年度 一般会計決算

(収 入)					単位：円
区 分	平成29年度 予算現額	平成29年度 決算額	増減	付 記	
1 社資収入	167,028,000	127,546,382	△ 39,481,618	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金	
2 補助金及び 交付金収入	2,704,000	6,956,967	4,252,967	熊本地震災害補償、本社からの交付金	
3 繰入金収入	1,128,000	7,500,000	6,372,000	災害等資金積立金の繰入、国際救護活動資金	
4 雑収入	5,396,000	5,607,817	211,817	講師派遣収入、講習用教材費収入等	
5 前年度繰越金	800,000	150,566	△ 649,434	前年度繰越金	
収 入 合 計	177,056,000	147,761,732	△ 29,294,268		
(支 出)					単位：円
区 分	平成29年度 予算現額	平成29年度 決算額	増減	付 記	
1 災害救護事業費	24,490,000	17,130,991	△ 7,359,009	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等	
2 社会活動費	42,780,000	36,141,887	△ 6,638,113	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費	
3 国際活動費	1,128,000	1,028,000	△ 100,000	ケニア地域保健強化事業費(近畿共同事業)	
4 指定事業 地方振興費	4,028,000	4,028,000	0	災害救護資機材整備費	
5 地区分区 交付金支出	16,390,000	10,774,525	△ 5,615,475	地区分区(市町村)における赤十字活動費	
6 社業振興費	27,020,000	25,207,067	△ 1,812,933	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費	
7 積立金支出	5,100,000	5,000,352	△ 99,648	退職給与資金特別会計積立金	
8 総務管理費	29,528,000	29,192,212	△ 335,788	支部の事業管理運営費	
9 資産取得及び 資産管理費	2,592,000	1,015,448	△ 1,576,552	施設管理費	
10 本社送納金支出	24,000,000	18,077,757	△ 5,922,243	本社への送納金	
11 予備費	0	0	0	その他	
支 出 合 計	177,056,000	147,596,239	△ 29,459,761		
次年度繰越金		165,493	円		

2 平成 29 年度 会費収入

単位：千円

区分	H25	H26	H27	H28	H29
一般会費	147,748	122,972	135,417	106,999	116,513
うち地区・分区	95,932	88,498	87,362	88,498	82,881
うち有功会勸奨等	27,040	37,571	19,637	37,571	33,604
うち住民税控除対象の海外救援金※	1,988	0	9,348	0	28
法人会費	9,551	9,454	9,688	8,504	11,033
計	157,299	132,426	145,105	115,503	127,546

※住民税控除対象の海外救援金

H25 年度：フィリピン台風救援金、H27 年度：ネパール地震救援金

H29 年度：南アジア水害救援金

(注)日赤奈良県支部評議員会の運営

(i)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議 案
平成 29 年 6 月 15 日(木) 午後 2 時～3 時	日赤奈良県支部 (奈良市)	(1) 平成 28 年度支部事業報告及び収支決算報告 (2) 平成 28 年度血液事業報告
平成 30 年 2 月 26 日(月) 午後 1 時 30 分～2 時 30 分	日赤奈良県支部 (奈良市)	(1) 監査委員の選任について (2) 平成 30 年度支部事業計画及び収支予算 (3) 平成 30 年度血液事業計画

(ii)会計監査の実施（平成 16 年度決算から税理士（委託）による外部監査実施）

平成 29 年度支部一般会計決算の監査を税理士（外部監査員）と支部監査委員 2 名から受けました。

（事前監査：平成 30 年 5 月 21 日(月)及び本監査 6 月 4 日(月)実施）



(支部評議員会：6 月)



(支部評議員会：2 月)

参 考 資 料

1 平成 29 年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分		平成29年度		平成28年度		前年度対比
		実績額(円)	前年比	実績額(円)	前年比	
一 般 社 資	奈良市	16,619,365	97.3%	17,075,091	95.5%	△ 455,726
	大和高田市	3,305,950	89.9%	3,676,100	99.2%	△ 370,150
	大和郡山市	6,252,000	98.6%	6,343,515	95.5%	△ 91,515
	天理市	2,960,850	98.6%	3,003,950	100.8%	△ 43,100
	橿原市	6,363,242	96.1%	6,618,107	104.0%	△ 254,865
	桜井市	2,274,433	95.6%	2,379,657	112.4%	△ 105,224
	五條市	2,767,347	100.0%	2,767,963	98.6%	△ 616
	御所市	2,070,723	99.4%	2,084,100	96.1%	△ 13,377
	生駒市	7,041,762	99.2%	7,095,900	95.2%	△ 54,138
	香芝市	3,414,000	60.0%	5,690,000	100.0%	△ 2,276,000
	葛城市	2,887,922	98.3%	2,938,541	99.9%	△ 50,619
	宇陀市	2,474,994	95.3%	2,598,072	96.5%	△ 123,078
	市地区計	58,432,588	93.8%	62,270,996	98.2%	△ 3,838,408
	山辺郡	528,500	99.2%	532,500	98.4%	△ 4,000
	生駒郡	4,998,858	95.2%	5,250,195	102.3%	△ 251,337
	磯城郡	4,272,267	99.1%	4,312,000	98.8%	△ 39,733
	宇陀郡	574,705	97.7%	587,979	101.4%	△ 13,274
	高市郡	1,822,089	97.3%	1,872,896	99.5%	△ 50,807
	北葛城郡	6,916,860	98.2%	7,046,123	100.0%	△ 129,263
	吉野郡	4,802,864	97.6%	4,919,058	99.3%	△ 116,194
	吉野西	532,244	93.4%	570,112	101.2%	△ 37,868
	郡地区計	24,448,387	97.4%	25,090,863	100.1%	△ 642,476
	地区分区扱計	82,880,975	94.9%	87,361,859	98.7%	△ 4,480,884
	支部扱計	33,604,306	171.1%	19,637,078	52.3%	13,967,228
	※海外救援金計	28,000		0		
	一般社資合計	116,513,281	108.9%	106,998,937	79.0%	9,514,344
	法人社資合計	11,033,101	129.7%	8,504,227	87.8%	2,528,874
	社資合計	127,546,382	110.4%	115,503,164	79.6%	12,043,218

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。